

## AI研究



AIが進化しても人間の役割は重要だと感じた



# 善悪教えるのは人間

【岡山市・岡山大学附属小6年、長坂桜弥】  
AI(人工知能)を研究している岡山県立

大の菊井玄一郎教授(55)取材した。

菊井教授は「東ロボくん」というAIを使い、東京大の入試突破を目指すプロジェクトメンバーの一人。「模擬試験の結果、有名私立大には合格できそうだけど、東京大にはまだ届かない。読解力の向上など新たな課題克服に向け頑張っています」と教えてくれた。

2045年にはAIが人の能力を超えると予想され、私たちが大人になった時、今の仕事の半分ぐらいはAIが担っているかもしれない。ただ、人間の役割はどんな時代でも大切だ。AIはあらゆる知識を吸収できるのが強みだが、良い情報も悪い情報も取り入れてしまう。「善悪を教えたり、管理したりするのは人間の大きな仕事」と言う菊井教授の言葉は強く心に残った。

私も良い事、悪い事をしっかり学び、AIと一緒に助け合って生きていくことが大切だと思った。